

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2026 年 10 月 1 日（木）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
01C27 8 (1C27 1)	曜日指定 FCM 多発性骨髄腫 解析検査	骨髄液 1.0	HOO (H)	冷蔵 (1日)	3~5	1882 ※3	フロー サイト メトリ ー		凍 裏面参照 ¥

※3：血液学的検査判断料

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード (旧項目コード)	項目名	最終受託日
06203 9 (6203 1)	多発性骨髄腫解析検査 CD38マル チ解析（造血器悪性腫瘍細胞検査）	2026年 11月 27日（金）ご依頼分まで



● FCM多発性骨髄腫解析検査

骨髄腫細胞の同定・クローナリティ評価に加え、骨髄腫細胞の特徴や治療標的の評価などに有用な検査です。

多発性骨髄腫（Multiple Myeloma：MM）はBリンパ球系の最終分化段階にある形質細胞が腫瘍化することで発症する血液悪性腫瘍です。近年罹患者数は増加傾向にある一方、薬剤の開発が極めて活発な疾患でもあります。

近年ではキメラ抗原受容体遺伝子改変T細胞（CAR-T細胞）治療や二重特異性抗体（BsAb）、抗体複合薬（ADC）などによる治療が開発されており、いずれも骨髄腫細胞表面に発現しているタンパク抗原を標的としています。

特にBCMA、GPRC5D、SLAMF7などを標的とした治療は国内でも臨床導入されており、本検査はこれまでの骨髄腫細胞の同定・クローナリティ評価に加え、これらの治療標的抗原の発現を確認することで、標的治療前の腫瘍細胞の特徴や、治療後の抗原発現低下・消失などを把握するために有用な検査です。

▼検査要項

検査項目名	曜日指定 FCM 多発性骨髄腫解析検査
項目コード (旧項目コード)	01C27 8 (1C27 1)
検体量	骨髄液 1.0mL
容 器	H00 (H) 保存液入り
保 存 方 法	冷蔵保存してください
所 要 日 数	3～5 日
検 査 方 法	フローサイトメトリー
検査実施料	1882点（「D005-15」造血器腫瘍細胞抗原検査（一連につき））
判断料	125点（血液学的検査判断料）
備 考	凍 ㊦

項目	検出抗体
FCM 多発性骨髄腫解析検査	CD19 CD20 CD45 CD56 CD138 BCMA GPRC5D SLAMF7 cy κ -chain cy λ -chain

[01C27 8] FCM 多発性骨髄腫解析検査についての留意事項

- 凍結保存は避けてください。受託可能日は月～金曜日です。
- 抗CD38発現が低下した骨髄腫では、腫瘍細胞を十分に検出できない可能性があります。
- MRDの測定を目的としている場合は、「02829 9:多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8color)」を依頼してください。
- 本検査は野生型のBCMAおよび野生型のGPRC5Dを検出対象としています。変異型のBCMAおよび変異型のGPRC5Dについては検出できない可能性がありますのでご了承ください。

細胞性免疫検査のご依頼について

1. 検体は採取後、当日中にご提出ください。
2. リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
3. 骨髄液でのご依頼の場合は、専用容器(H00)を使用し冷蔵にてご提出ください。
4. リンパ節等、組織でのご依頼の場合は、専用容器(H20)に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。指定の採取量を採取し、よく混和させ、冷蔵保存してください。検体は採取後、当日中にご提出ください。

●参考文献

Harada H, et al : Blood 81 (10) : 2658～2663, 1993. (検査方法参考文献)

Pillariseti K, et al : Blood 135 (15) : 1232～1243, 2020.

Riedhamme C, et al : Leukemia 40 (4) : 730～738, 2026. (臨床的意義参考文献)